

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産

史跡 大平山元遺跡

約15,000年前 青森県外ヶ浜町

図①



日本最古級の土器が出土

日本最古級の土器が出土しました。土器は定住の開始を示し、縄文時代の始まりを考えると重要です。石鏃も出土し、弓矢の使用も開始していました。

NEWS 整備事業開始

整備に向けての計画や設計を着実に進めています。現地には、簡易的な看板や表示(新しく居住域を示すエリアを表示し、土器片が見つかった地点がわかりやすいように看板を作成)はありませんが、整備の具体を進めるため、植栽事業について、部分的に先行植栽を行いました。植栽した樹木は、大平山元遺跡の当時の自然環境にあうよう、青森県内の同じような時代の遺跡や自然環境を示している事例を参考に選びました。植える樹種は、常緑の針葉樹のモミ・トウヒ・アカエゾマツ・グイマツです。大きく育ち、遺跡の理解を深められるよう大切に管理していきます。

また、遺跡を支える「大平山元遺跡もりあげ隊」が立ち上がり、町民文化祭でのPRやボランティアガイドの育成などを進めています。



お問い合わせ

外ヶ浜町教育委員会 社会教育課

〒030-1393 青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田高銅屋44-2

電話:0174-31-1233

史跡 垣ノ島遺跡

約9,000年前 北海道函館市

図②



居住域と墓域が離れた集落遺跡

居住域と墓域が分離し、日常と非日常の空間が区別されています。墓には子どもの足形付き土版が副葬されるものもあります。巨大な盛土も作られました。

NEWS 一般公開に向けて整備工事中

2021年度の一般公開に向けて整備事業に着手しています。2018年度は、大規模な盛り土遺構の旧地形を再現するための造成工事や遺跡内の針葉樹などの伐採を行いました。2019年度は引き続き、エントランス広場や体験広場などの造成工事、園路の整備を行っています。来年度は見学者の方に利用していただくためのトイレ・管理棟、体験学習施設や解説板などを設置する予定です。

一般公開に先立ちゴールデンウィークや夏休みなどに臨時公開を行っていて、大規模な盛り土遺構や整備の様子などを見学することができます。来年度も引き続き実施する予定です。



お問い合わせ

函館市教育委員会 世界遺産登録推進室

〒040-8666 北海道函館市東雲町4-13

電話:0138-21-3563



史跡 北黄金貝塚

約7,000年前 北海道伊達市

図③



環境にあわせて移動した貝塚

噴火湾を臨む高台の貝塚です。温暖な気候を示すハマグリが出土しています。水場には壊れた石器が集中しており、まつりや儀式が行われていました。

NEWS 「北黄金貝塚」命名70周年

本貝塚は1948年に地元高校に赴任してきた社会科の先生によって発見されました。その後、その先生の授業に感銘を受けた生徒たちが郷土研究部を立ち上げ、地元住民や大学教員などの協力を得ながら発掘調査を行ったのが、北黄金貝塚での調査の始まりです。そして、1950年に彼らが作成した本格的な調査報告書の中で、初めて「北黄金貝塚」の名前が登場しました。

2020年は、「北黄金貝塚」命名から70年となります。それを記念して、4月1日から、ガイダンス施設北黄金貝塚情報センターにて、企画展示「命名70周年-市民とともに歩んだ北黄金貝塚」展を開催します。発見時から現在までを貴重な写真と遺物で振り返ります。ぜひ足をお運びください。



お問い合わせ

伊達市教育委員会 伊達市噴火湾文化研究所
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20-1
電話:0142-23-3331

史跡 田小屋野貝塚

約6,000年前 青森県つがる市

図④



ベンケイガイのブレスレット工場

数少ない日本海側の貴重な貝塚です。ヤマトシジミが大半でイルカやクジラの骨も出土しています。ベンケイガイ製貝輪の製作場所とも考えられています。

NEWS 遺跡ボランティアガイド発足

2015年度までに発掘調査を終了しており、現在は調査地点を埋め戻しています。埋葬人骨が出土した地点や竪穴住居跡内で貝層が確認された地点には、今年度新たに簡易説明板3基を設置しましたが、訪れる方々に遺跡をより知っていただくために、遺跡ボランティアガイド「つがる縄文遺跡案内人」を発足させました。現在は9名の方が登録しており、隣接する亀ヶ岡石器時代遺跡とあわせたガイド活動を週末に実施しています。



お問い合わせ

つがる市教育委員会 社会教育文化課
〒038-3138 青森県つがる市木造若緑52
電話:0173-49-1194



史跡 ニツ森貝塚

約6,000年前 青森県七戸町

図⑤



海進・海退を示す拠点集落

小川原湖を臨む高台にある明治時代から知られる東北有数規模の貝塚です。上層と下層で貝の種類が変わるなど環境の変化がよくわかります。

NEWS 「ジュニアボランティアガイド養成講座」開催

七戸町内の小学4年生から中学生までを対象に「ニツ森貝塚」と「JOMON」をキーワードに、ふるさと七戸町について楽しく学ぶ「ニツ森貝塚ジュニアボランティアガイド養成講座」を開催しています。

2020年のゴールデンウィークにニツ森貝塚のガイドに挑戦することを目標に活動しており、冬休みは、ガイド活動で着用する「my縄文服づくり」の体験をとおして、縄文時代のファッションについて学びました。今後も、様々な体験をとおして、将来のボランティアガイドを担う子どもたちの育成に取り組んでいきます。



お問い合わせ●

七戸町教育委員会 世界遺産対策室
〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上210
電話：0176-58-5530

特別史跡 三内丸山遺跡

約5,000年前 青森県青森市

図⑥



日本最大級の集落遺跡

日本最大級の縄文集落です。人々の生活や当時の環境がよくわかります。土器や石器、漆製品、土偶、ヒスイ、黒曜石なども出土しました。

NEWS 三内丸山遺跡センター開設

2019年4月に、国宝や重要文化財を展示できる企画展示室を備えた三内丸山遺跡センターをオープンしました。夏季特別展「あおり土偶展」では山形県西ノ前遺跡の国宝土偶「縄文の女神」や青森県亀ヶ岡遺跡の重要文化財「遮光器土偶」などを展示しました。

発掘調査は、今年度も遺跡の北端部で実施し、7月～9月は担当職員による現場ガイドを、9月22・23日には現地説明会を行いました。

また、遺跡来訪者の手形を並べて「つかめ！縄文2021年の世界遺産登録！」の文字を作るギネス世界記録「世界最大の縄文手形のペーパーメッセージ」に挑戦し、2,021個以上で見事3年連続3つめのギネス記録が遺跡で誕生しました。



お問い合わせ●

三内丸山遺跡センター
〒038-0031 青森県青森市三内丸山305
電話：017-781-6078



史跡 大船遺跡

約5,000年前 北海道函館市

図⑦



大規模な祭祀場が発達した拠点集落

太平洋を臨む高台の拠点集落です。大型の竪穴建物が多く、貯蔵穴、墓、盛土で構成されています。盛土からは土器・石器がまとまって出土しました。

NEWS クリの苗木植樹

整備完了後の2010年度から一般公開を行っています。今年度は地元企業や民間団体の協力により、遺跡各所にクリの苗木を植えました。2019年7月には地元企業が長年緑化事業として取り組んでいる「ふれあいグリーンキャンペーン」の一環として、2018準ミス・インターナショナルの文元麻由奈さんが緑の大使として来訪しました。2019年11月には地元で植樹活動を積極的に行っている「南かやべ森と海の会」による植樹が行われました。

大船遺跡からは太平洋が一望することができ、背後には「栗の木山」が迫る自然豊かな環境ですが、津軽海峡を渡って縄文人によってもたらされたクリが繁る当時のたたずまいを思わせるような、より良い景観づくりを目指しています。



お問い合わせ

函館市教育委員会 世界遺産登録推進室
〒040-8666 北海道函館市東雲町4-13
電話：0138-21-3563

史跡 御所野遺跡

約4,500年前 岩手県一戸町

図⑧



豊富な森林資源と火のまつり

馬淵川近くの拠点集落です。配石を伴う墓や、焼けた動物の骨や木の実が出土した盛土など当時のまつりや儀式の様子がよくわかる遺跡です。

NEWS イベント開催

2019年11月1日～10日を御所野縄文WEEKとして、「縄文給食の日」や縄文に関わる映画上映などイベントを集約して行いました。最終日はシンポジウム「世界へ広げるJOMON元年 もっと身近に、もっと縄文」を開催し、料理研究家の土井善晴氏の講演や、料理・イラスト・お菓子作り専門家のスペシャルトーク、遺跡活用についての特別対談を行いました。一戸中学校吹奏楽部、特設合唱部の発表も会場を盛り上げ、最後は町内小中学生による「世界へ広げるJOMON元年宣言」を行いました。

他にも、ナイトミュージアムや縄文カフェの設置など、これまでにない切り口から御所野遺跡を楽しんでいただけるよう取り組みました。



お問い合わせ

御所野縄文博物館
〒028-5316 岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野2
電話：0195-32-2652



史跡 入江貝塚

約4,000年前 北海道洞爺湖町

図⑨



噴火湾沿岸地域の暮らしをよく示す集落

噴火湾を臨む高台にある墓や貝塚を伴う集落です。小児マヒ(ポリオ)にかかり手厚い介護を受けたことがわかる埋葬人骨も出土しました。

NEWS 貝塚館リニューアル

1998年に開館したガイダンス施設「入江・高砂貝塚館」の増築を2020年に実施する予定です。増築部分はガイダンス機能を中心としたスペースで、体験学習や講演会などを行い、既存部分は展示室として改修し、入江・高砂貝塚から出土した遺物や人骨を中心にわかりやすい展示を目指しています。

また、入江貝塚では毎年「とうや湖縄文まつり」を実施しており、町内外から多くの人たちが訪れ、ものづくり体験や縄文ゲームなどでにぎわいを見せています。



お問い合わせ

洞爺湖町教育委員会 社会教育課
〒049-5692 北海道虻田郡洞爺湖町栄町58
電話:0142-74-3010

史跡 小牧野遺跡

約4,000年前 青森県青森市

図⑩



複雑な配石により造られた環状列石

石垣と思わせるような独特の並べ方をした大型の環状列石です。直径約55mです。周りには墓などがあり祭祀等で使われた三角形岩版も出土しました。

NEWS 推薦候補決定記念イベント

2019年8月11日、「縄文の学び舎・小牧野館」を会場に世界遺産登録推薦候補決定記念イベント「こまきのヴィレッジまつり」を開催しました。

開会式では、青森市長や地元の小中学生、地元町会のみなさんが、世界文化遺産推薦候補決定を祝い、くす玉を割り、2年後の世界遺産登録に向けて、全員で「ガンパロー！」の氣勢を上げて記念撮影しました。

その後、一般社団法人小牧野遺跡保存活用協議会の協力により、縄文時代や自然をテーマにしたワークショップ、津軽三味線やアフリカン太鼓のライブなどを行い、約1,300人のお客様にご来館いただき、大いに賑わいました。



お問い合わせ

青森市教育委員会事務局 文化財課
〒030-0801 青森市新町1-3-7
電話:017-718-1392



史跡 伊勢堂岱遺跡

約4,000年前 秋田県北秋田市

図⑪



4つの環状列石が隣り合う祭祀の場

4つのストーン・サークルによって構成される遺跡です。最大は直径約45mです。周りには掘立柱建物や貯蔵穴が分布し、まつりの道具も出土しました。

NEWS 遺跡PR

2019年7月28日に、伊勢堂岱遺跡のボランティアであるワーキンググループと、ジュニアボランティアガイドの2団体が共同で、JR秋田駅東西自由通路「ほぼろ一ど」にて、PR活動を初めて行いました。通行者にPRチラシの配布や、パネルで説明するなどし、通行する方々に、伊勢堂岱遺跡の価値や世界遺産登録推進を発信しました。

また、ジュニアボランティアガイドをはじめとした中・高校生は、伊勢堂岱縄文館の展示説明を英語で行うことを目的として、国際教養大学にてイングリッシュ・ビレッジを体験しました。



お問い合わせ●

北秋田市教育委員会 生涯学習課
〒018-3312 北秋田市花園町10-5
電話：0186-62-6618

特別史跡 大湯環状列石

約4,000年前 秋田県鹿角市

図⑫



規則的に造られた大規模な祈りの場

万座と野中堂の2つの大型のストーン・サークルを中心とした遺跡です。土偶などのまつりの道具も出土し、中でも数を表す土版は有名です。

NEWS 情報発信

史跡の魅力を伝えるガイドの会が「大湯SCの会」として生まれ変わり、来場者への展示解説・遺跡案内を行っております。冬季にはガイドの養成講座や学習会を予定しています。

また、大湯ストーンサークル館では体験学習に「組石マグネット作り」を新たに加えたほか、ものづくりを通して遺跡の魅力に触れるイベントとして「JOMOラボ」を開催しました。

2019年11月には世界文化遺産登録推進シンポジウムを開催し、基調講演のほか構成資産について事例発表を行いました。昨年度以降、世界遺産や史跡をテーマとした出前講座が増えており、世界遺産登録に向けて地元の方々の関心が高まっています。



お問い合わせ●

大湯ストーンサークル館
〒018-5421 秋田県鹿角市十和田大湯字万座45
電話：0186-37-3822



史跡 キウス周堤墓群

約3,200年前 北海道千歳市

図13



高い土手で囲まれた特異な集団墓地

円形の竖穴を掘り、掘った土を周囲に土手状に積み上げ、その中に墓を配置した独特な墓地です。最大のものは直径約75㍍、高さ5㍍と巨大です。

NEWS 史跡追加指定

2013～2017年の史跡指定地周辺の発掘調査と現況測量の成果をもって、史跡キウス周堤墓群は、2019年10月16日に5.9haが追加指定され、その結果10.8haの保護の万全を図ることとなりました。

周堤墓という特異な墓地構造に精神文化の特色をうかがうことができる遺跡について、「キウス周堤墓群は極めて大型の周堤墓が集中した周堤墓群で、世界的にも狩猟採集民が築いた構造物としては最大級である。新たに確認した通路状遺構を含め、周堤墓群の形成過程や構造を知る上で重要であり、また縄文時代後半期における墓制、社会構造を考える上で欠くことのできない遺跡である。」と高く評価されています。



お問い合わせ

千歳市埋蔵文化財センター
〒066-0001 千歳市長都42-1
電話：0123-24-4210

史跡 大森勝山遺跡

約3,000年前 青森県弘前市

図14



岩木山に抱かれた環状列石

岩木山麓のストーン・サークルで、冬至には山頂に太陽が沈む場所に作られました。直径約50㍍です。まつりに使われた円盤状石製品が出土しました。

NEWS 変わりゆく遺跡

2017年度から整備事業が本格化しており、今年度は、遺跡当地地区の保護盛土造成等の整備を行いました。来年度以降、環状列石の自然石材による遺構表示や、園路・説明板の整備のほか、休息便益施設や駐車場等の周辺環境整備、ガイダンス施設の整備を行う予定です。

なお、2019年8月4日、史跡大森勝山遺跡保存活用推進会議により「第6回大森勝山じょうもん祭り」が、大森勝山遺跡を舞台に開催されました。当日は、遺跡探検隊や地元中学生による「すそのよさこい」などの様々なイベントが催され、総勢431名の来場者が、太古の縄文時代に思いを馳せていました。



お問い合わせ

弘前市教育委員会 文化財課
〒036-1393 青森県弘前市大字賀田1-1-1 岩木庁舎3階
電話：0172-82-1642



史跡 高砂貝塚

約3,000年前 北海道洞爺湖町

図15



海の恵みをよく示す貝塚と共同墓地

高台の貝塚から貝類や魚類、ほ乳類などが出土しました。ベンガラが散布された墓も検出され、当時の生業や葬送の祭祀等がわかる遺跡です。

NEWS 貝塚保存整備事業

2015年から整備事業を開始し、これまでの発掘調査で明らかになった貝塚や墓などの遺構表示や縄文時代の地層から得られた花粉分析の結果をもとにミズナラやハンノキなどの樹木の植樹などを実施しています。そのほか、縄文時代にも存在が確認された小川の整備などを行い、遺跡を縄文時代の環境に近づけ、自然とふれあい、縄文の雰囲気を感じることができる空間づくりを行っています。

整備は2020年まで実施する予定で、2021年の公開を目指しています。



お問い合わせ

洞爺湖町教育委員会 社会教育課
〒049-5692 北海道虻田郡洞爺湖町栄町58
電話：0142-74-3010

史跡 亀ヶ岡石器時代遺跡

約3,000年前 青森県つがる市

図16



しゃこちゃんのふるさと

大型遮光器土偶が出土したことで有名です。台地には多数の墓が作られており、大規模な共同墓地でした。墓から多くの副葬品が出土しました。

NEWS 土偶作り体験講座実施

「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産の国内推薦候補に決定したことを記念して、つがる市内の小学生を対象とした夏休み体験講座「土偶作り体験」を2019年7月27日に実施しました。

当日は約30名の方に参加いただき、小学生が思い思いの土偶作りに励みました。土偶作り体験とあわせて亀ヶ岡石器時代遺跡の現地見学会を開催し、学芸員の説明を聞きながら親子で縄文時代の暮らしに思いを馳せました。

また、これまでの発掘調査の成果をまとめた総括報告書が刊行され、遺跡の内容がよりわかりやすくなりました。



お問い合わせ

つがる市教育委員会 社会教育文化課
〒038-3138 青森県つがる市木造若緑52
電話：0173-49-1194





美しい土器や漆器が多数出土

美しい土器や土偶が多数出土しました。特に漆製品は優品が多いことで有名です。低地から水場が見つかるなど当時のムラの様子がよくわかる遺跡です。

NEWS 整備の完成予想図できる

是川石器時代遺跡のうち、縄文時代晩期の是川中居遺跡を中心とする第1期整備計画を策定して「是川縄文の里」の整備を進めています。2018年度には、再現する遺跡の姿を検討する基本設計を行い、完成予想図を作成しました。

第1期の目玉である晩期中居ムラでは、竪穴住居をはじめ、小川が流れる水辺の作業場を再現します。また、是川縄文人の資源利用を体感するため、クリやトチの木などを育てて、縄文の森を創出する予定です。完成予想図によって、中居ムラの姿がいよいよ具体的になってきました。

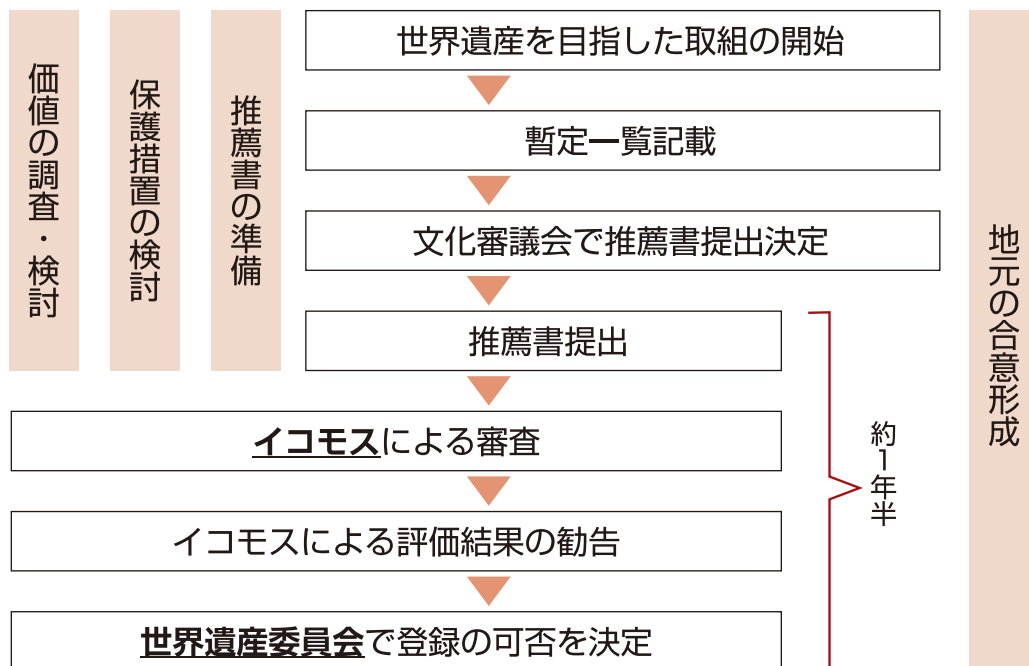


お問い合わせ●

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
〒031-0023 青森県八戸市是川字横山1
電話：0178-38-9511

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録までのスケジュール

2020年2月 1日までに推薦書を提出
2020年秋 ユネスコ諮問機関である国際記念物遺跡会議(ICOMOS・イコモス)による現調査
2021年7月ころ 世界遺産委員会にて登録の可否を決定



「年々審査は厳しくなっており、しっかりとした準備と対策が必要となる。」